

前号清水さんのご紹介で執筆致しますが、これまでにお断りした皆様、大変申し訳ありません。お世話になっている清水さんから声をかけて頂いたので即答で執筆することにしました、笑

私は「信長の野望」というゲームをきっかけに日本史と旅行にはまってしまい、暇を作っては全国を転々と巡ることを趣味としております。特に地震や台風災害の多い日本で、建設時の姿を残す歴史建造物を見ることが出来ると、建築技術の高さや維持管理技術が時代を超えて継承されてきたことに感銘を受け、その地域のグルメを気分良く楽しむことができます。少しお金のかかる趣味ではありますが、この趣味を維持できるように働き続けなければならないという的外れな思いから、技術士は34歳の時に建設部門の道路で取得し、その後土質及び基礎、総合技術監理部門(建設-道路)に合格することが出来ました。途中、建設環境にもチャレンジしてみたのですが、あえなく挫折。延べ9回の筆記試験不合格を経験しましたが、継続してチャレンジすれば運が向いてくることもあると言いたいです。

技術士会での活動は、防災委員会に所属させて頂いております。入会して7、8年たちますが、防災委員会は私からすると優秀な方が多く、見ていてだけで勉強、お話をさせていただく機会があれば財産。もっと早くから活動すれば良かったと思うようになりました。技術士会での活動を悩んでいる方がいらっしゃいましたら、まずは参加してみることをお勧めしたいと思います。

最後に技術士会の全国大会が今年は名古屋、来年は札幌で開催されます。全国大会を経験したことがないため、趣味を兼ねて(メイン?)名古屋大会を視察してみたいと思います。

## 石井 真治 (いしい しんじ)

- 建設部門(土質及び基礎、道路)
- 総合技術監理部門(建設-道路)

### 勤務先

株式会社ジェイノース



→次号は、高宮英樹さん(建設部門)

私は、室蘭工業大学大学院修了後、2005年(平成17年)北電総合設計に就職しました。

北電総合設計では、京極発電所建設工事の詳細設計(建設所内で設計業務等を担当)、北本連系増強工事の造成設計、火力・水力発電所土木施設の健全度評価・改修検討、変電所機器基礎設計等に携わりました(14年間)。設計、維持管理と幅広い経験をし、これらは私の技術力の源です。

その後、JR北海道に転職し、鉄道路木施設の保守・点検や修繕工事の発注・施工管理を3年経験しました。立場が変わって施設管理者・発注者となり、考え方自体を改める機会となり苦労もしました。

しかし、離れて改めて設計の仕事が好きであることに気づき、近年流行の転職エージェントを活用して現職へ転職しました。現職では、廃棄物処分場の計画・設計・施工管理、焼却処理施設の計画・設計・施工管理そして少々再生エネルギー関連に携わっております。現職のお客様には、技術者ではない方も多いため、検討内容や成果をわかりやすく伝えることに留意しながら、新たな勉強(特に法律関連)をしつつ、これまでの経験・技術をフル活用して業務に邁進しております(2年目)。

技術士の取得は、JR北海道転職1年目の39歳(令和元年度)の時でした。技術士登録後、青年技術士交流委員会に所属し精力的に活動しています。特に苫小牧高専の学生向けに技術士の仕事について講演させていただいたのは、人に伝えることの難しさ、そしてわかってもらえることの喜びを感じることができ、良い経験となりました(No.159参照)。今期より副委員長に就任したので、さらに積極的に活動を行います。本誌にて活動報告させていただきますので、楽しみにしていただければと思います。

## 津田 裕介 (つだ ゆうすけ)

- 建設部門(鋼構造及びコンクリート)

### 勤務先

株式会社ドーコン



→次号は、高澤昌憲さん(建設部門)